

教育長だより No. 3

2022年4月7日

涙でるほどうれしいねん！

～ 入学式を前にして ～

もう10年ほど前のことになります。4月のはじめ、あるおばあちゃんから聞いた話を紹介します。

先生、6つになった孫がもうすぐ小学校に入ります。
先日、通学カバン（ランドセル）をお母さんに買ってもらいました。
その日、孫はそれをずっと背負（しょ）っていました。私と近所の公園に遊びに行くときも背負っていました。
そして、その晩は布団の中にまで持ち込んで、抱きしめるように眠ったんです。

次の日、『〇〇ちゃん、小学校に入るのがそんなにうれしいの？』って聞いたら、孫は『うん、涙出るほどうれしいねん！』と言うたんです。

先生、小学校に入学するってことは、子どもにとってこんなにも夢や希望を与えてくれるすごいことなんですね。私、この年になって改めて子どもの気持ちを考えさせられました。

子どもや保護者の「思い」をキャッチするアンテナを高く！

今年、本市では487名の子どもが6つの小学校へ入学します。

このおばあちゃんのお孫さんのようにうまく自分の思いを言葉にできる子は少ないかも知れませんが、入学への「熱い思い」は、487名の子どもたち一人ひとりが持っています。さらに、その子どもたちの後ろには、それぞれの保護者さんのいっぱい「思い」もあります。そして、それは中学校も同じです。今年は504人が入学します。こちらは思春期に入り、「期待」と共に「不安」も大きいと思います。

また、幼稚園やこども園、保育園（所）などへの入園も、子どもたちはそれまでの在宅から大きく一步を踏み出すのですから、「わくわく・どきどき」は相当なものだと思います。

私たち教職員は、子どもたちの入学・入園（所）への「熱い思い」や「不安」に寄りそい、また、保護者さんの期待や不安にもていねいに答えながら、毎日の教育・保育に取り組んでいきたいと思っています。そのためにも、私たち一人ひとりが「アンテナ」を高くする努力を続けましょう。さあ、子どもたちとのすばらしい出会いを！！